

別学12校保護者の共学化問題に関する意見を教育委員会に提出したことの報告 (知事及び教育長宛てに意見を提出)

埼玉県男女共同参画苦情処理委員から出された勧告（令和5年8月30日付け）に関する埼玉県立の別学12校各校の保護者意見（アンケート等）を、大野埼玉県知事及び日吉埼玉県教育委員会教育長に提出するために、本校保護者代表として吉田PTA会長（現後援会長）が、浦和高校、熊谷女子高校、松山高校、及び久喜高校の保護者代表とともに、令和6年5月30日（木）13:30～14:10において教育委員会（教育局）の依田統括監を訪問しました。なお、本校PTAの広報部からも糟川さん（部長）と長岡さんが取材目的で同行しました。

会場となった教育委員会室には、多数の報道陣がテレビカメラとともに待機しており、この問題に関する関心の高さが伺えました。統括監との面談後も、各校代表は報道陣に囲まれてしばらくの間取材対応に追われるほどでもありました。



冒頭に、以下の2.に記載の保護者意見を綴じた知事と教育長宛てのファイルが、久喜高校の保護者代表の篠田さんから依田統括監に手渡されました。

続いて、12校の保護者代表の連名で、令和6年8月31日までに予定されている勧告に対する苦情処理委員への対応報告（以下、「措置報告」）を教育委員会が作成するに際して、以下の2点の要望を依田統括監にご説明し、大野知事や日吉教育長にお伝えいただくことをお願いしました。

1. 苦情の趣旨及び男女共同参画の推進の観点から措置報告がされること。（少子化・生徒数の減少、他県の事情、教員の男女比率などとは切り離して検討いただきたいこと。）
2. ①別学各校保護者の意見の概要（各校でばらつきはあるものの過半数～9割超の反対意見であったことなど）、②別学各校保護者の主な意見・特徴的な意見の代表例、及び③既に意見聴取会に際し別学各校から教育委員会に提出された多くの保護者の意見等を十分にご検討いただいた上で、措置報告がされること。

上記 2. の②の意見の説明においては、まず共学化に賛成（時代の流れに合わせるべき、異性と一緒に学ぶことで異なる価値観が育まれるなど）ないしは中立的な意見（時間をかけて議論すべき、特に問題を感じない、生徒が自分に合った学校を選べばよいだけなど）の説明が行われたあとに、参加の 5 校からそれぞれ多くを占める反対意見の要約・要望が順に述べられ、また参加できなかった別学校の意見の代読も行われました。

他校からは、別学校の生徒たちの意見を汲み取ってほしい、民主的なプロセスによって教育委員会として措置報告に記載する方針を決めてほしい、共学校も別学校もあるのだから差別には当たらず選択の多様性が確保されていることが大切である、など様々な意見が述べられました。

吉田会長からは一女保護者意見として、1月30日と3月2日に行われた県教育委員会による意見聴取会において説明した意見の中から、共学化に賛成する意見や中立的な意見があったものの、以下のような代表的な反対意見の説明が行われました。（時間の関係で代表的なものを説明したのみ）

- 一部の授業・部活・行事・講演会・討論会などで他校との交流・連携を促進し、本気で授業やその他の取組みでジェンダー平等や男女共同参画を取り上げていけば、共学化せずとも勧告の指摘の趣旨をかなりの部分でクリアできること。
- 別学校は過去から社会に根付いてきたシンボリックな存在で、社会的価値やニーズもあり埼玉県の特徴でもある。別学校が過去において自然な形で共学化に向かわなかったのは、意味があり理由があること。一斉共学化は社会的価値の毀損につながり、社会の不利益となること。
- ジェンダー平等に加え、多様性も重視される時代であるため、男女別学校も、より一層尊重されるべきであること。

加えて、5月17日までに実施された中高生と保護者を対象のアンケートについて、もともと県内でも共学校の生徒や保護者が圧倒的に多いので共学化賛成の意見がかなり多い可能性があるが、多数決ではなく（数字だけを目立たせるのではなく）、意見の中身をしっかりと分析したうえでミスリードしないような公表をお願いしたいとの要望等が述べられました。

さらに取材時には、記者から女子校の意義を問われ、「女子校においてはリーダーシップ・自立心などが育成されやすく、男女共同参画社会で活躍できる基礎を築きやすい。」という発言がメディアにて紹介されました。

依田統括監からは、「別学 1 2 校の保護者意見を知事や教育長に早々に手渡しを行い、また本日 1 2 校から説明のあった意見をしっかりお伝えします。」とのお言葉をいただきました。今後は 8 月 3 1 日までに提出が予定されている教育委員会から苦情処理委員への措置報告の内容や関連する動向を注視していきたいと思っております。

以上
(文責 本部・広報部)